

環境経営レポート

“ エコな商品、環境にやさしいエンジンへの切り替え、スマート農機の推進などにより
地球環境にやさしい農業機械の普及を目指す”

群馬キセキ販売株式会社

作成：2021年3月15日

対象期間：2020年1～12月

目次

◇企業理念・環境経営方針	2
◇事業活動の概要	3～5
◇環境活動の実施体制	6
◇環境経営計画	7～8
◇環境経営目標（本社）	8～9
◇環境経営目標（営業所）	10
◇環境活動取組結果（本社）	11～16
◇環境活動取組結果（拠点別）	17～21
◇環境配慮製品販売実績（全社）	22
◇環境活動取組評価（本社）	23～24
◇環境活動取組評価（拠点別）	25
◇環境関連法規などの遵守状況	26～27
◇環境関連法規への違反、訴訟の有無	27
◇代表者による総評	28

企業理念

私たち群馬キセキは、農業機械と農業関連商品（製品）の販売やアフターサービスを通じて、季節の移り変わりや、太陽と水、そして、大地の恵と言った地球の自然と深く関わる農業と共に生きております。私たちは農業を支援することで日本の食を守り、より安全な食材を消費者に供給する一端を担うことが使命であると考えております。そのために環境に優しい事業活動を行うとともに、我々の事業活動が、地域社会や地球環境と深く関わり合っていることを認識し、お客様や地域との相互信頼のもとに、事業活動を通じて環境の維持、改善に積極的に取り組み、考え、行動することで、環境に対する継続的改善を実行することを目指します。

環境経営方針

- 1、環境に関連する法規制等を遵守します。
- 2、環境マネジメントシステム（EA-21 の考え方）を効果的に運用し環境問題のリスクを回避します。
- 3、環境保全のため、次の重点事項の取り組みを行います。
 - 1）当社にかかる資源・エネルギーの削減に取り組みます。
 - 2）廃棄物の削減に努めます。
 - 3）水使用量の抑制と適正使用に努めます。
- 4、当社の環境経営レポートを公表し、環境システムを継続的に改善しながら環境コミュニケーションの積極的なレベルアップを行います。
- 5、農業の環境に及ぼす影響を農業機械・資材の販売を通して最小限に抑えるための支援を行っていきます。

この環境経営方針は、要求があった場合、社外の人にも公開します。

改訂 2019 年 5 月 10 日

群馬キセキ販売（株）最高責任者
代表取締役 木村 英男

事業活動の概要

(1) 事業社名及び代表者名

群馬キセキ販売株式会社

代表取締役 木村英男

(2) 所在地

本社_前橋市天川大島町 116

(3) 営業拠点

前橋営業所_前橋市天川大島町 116

高崎営業所_高崎市木部町 356-1

太田営業所_太田市西本町 40-35

嬭恋営業所_吾妻郡嬭恋村大笹 188-1

伊勢崎営業所_伊勢崎市連取町 1815

渋川営業所_渋川市半田 2730-3

館林営業所_邑楽郡板倉町西岡 400-1

宮城営業所_前橋市柏倉町 371-1

赤堀営業所_伊勢崎市赤堀今井町二丁目 1286-5

昭和村営業所_利根郡昭和村糸井 6441-40

西部営業所_富岡市藤木日影 257-1

育苗センター_渋川市赤城町栄 793-1

系統推進部_前橋市亀里町 1307-1



事業活動の概要

(4) 環境保全関係の最高責任者・管理責任者及び連絡先

最高責任者	木村 英男	代表取締役
環境管理責任者	佐藤 幸治	取締役
連絡先 電話	0 2 7 - 2 6 3 - 3 2 1 1	
FAX	0 2 7 - 2 6 3 - 1 1 5 4	

(5) 事業の規模

設立	昭和 36 年 6 月 5 日
資本金	4,500 万円
本社従業員数	26 名 (R 2/12)
総従業員数	99 名
本社事務所延べ床面積	1,163 m ²

(6) 事業内容

各種農業機械、公園緑地管理機械の販売 修理
農業資材、肥料、農薬、土壌改良材の販売
自動車、家電品、健康医療器、格納庫等生活関連商材の販売
ライセンスセンター、育苗プラント等の施設推進事業
コイン精米機事業、コイン無人販売機販売
損害保険、生命保険代理業務

事業活動の概要

(7) 対象組織

本社事務所：認証・登録日：2006年3月30日

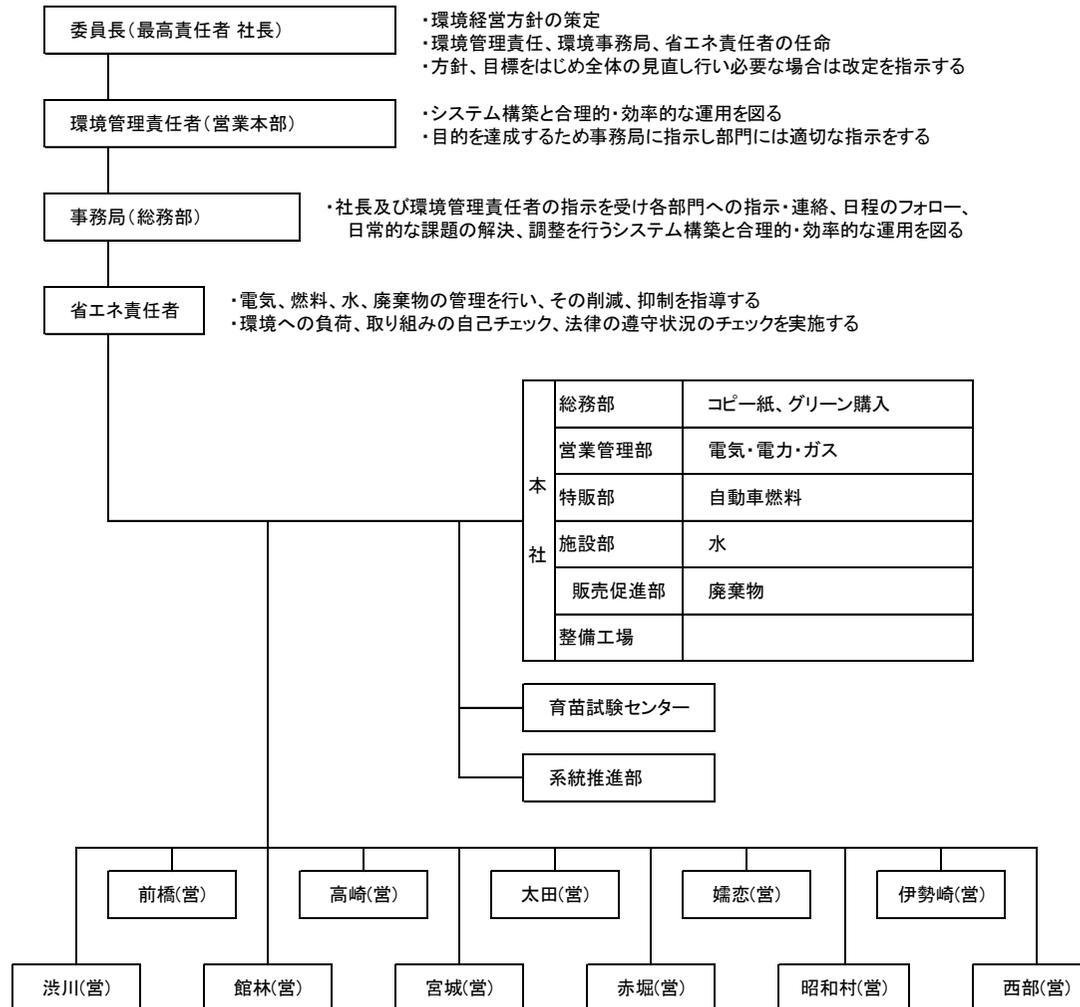
本社整備工場（2007年認証登録）

前橋営業所（2012年3月認証登録）

高崎営業所、太田営業所、嬭恋営業所、伊勢崎営業所、渋川営業所、館林営業所、宮城営業所
赤堀営業所、昭和村営業所、西部営業所、育苗センター、系統推進部
（2016年3月認証登録）

環境活動の実施体制

付図1、実施体制



環境経営計画

管理部署	取組項目	取組事項
総務部	コピー用紙の管理 再生品の購入 グリーン購入	コピー、印刷の適正化、ミスコピーの防止 両面コピー、裏面利用の推進 古紙及び再生紙の推進 リサイクル品の推進 グリーン購入の推進
営業管理部	電力の使用 ガスの使用	照明機器管理 照明点灯箇所のチェック スイッチの管理 運転時間の適正化 室内温度のチェック 空調機器の管理 自然光を取り入れる工夫
施設部	水の使用	日常的な節水の推進 毎月のメーター確認（漏水チェック）
販売促進部	廃棄物	manifestの管理 収集場所の整理整頓 処分業者の処理場見学
特販部	自動車の燃料	暖気運転の抑制 急発進急加速の抑制 運転記録簿の管理 走行距離の把握管理

管理部署	取組項目	取組事項
営業所・修理工場	上記全般 作業場での環境負荷の軽減	上記全般 近隣住民への騒音、悪臭等の防止 危険物等の使用及び管理 廃油の取扱い 工場内の整理、整頓、清掃

環境経営目標(本社)

項目	目標
地球温暖化防止	エネルギー起源のCO2排出量削減
水使用量削減※	水使用量削減
廃棄物削減	排出量削減
グリーン購入	グリーン購入の推進
環境配慮製品	環境に配慮した製品の販売促進

項目	基準値	中長期単年度目標「本社」					最終目標
		2016	2017	2018	2019	2020	
電力 (kWh)	80,101	79,060	78,098	77,217	76,336	75,455	75,478
		1.3%	2.5%	3.6%	4.7%	5.8%	
L P ガス (kg)	170.6	166.3	162.1	158.0	153.9	149.8	149.8
		2.5%	5.0%	7.4%	9.8%	12.2%	
車燃料 (リットル)	25,932	25,673	25,413	25,232	25,076	24,947	24,947
		1.0%	2.0%	2.7%	3.3%	3.8%	
二酸化炭素 (kg-co2)	97,327	96,354	95,380	94,407	93,434	92,461	92,461
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
コピー用紙 (枚)	90,830	89,013	87,197	85,834	84,472	83,564	83,564
		2.0%	4.0%	5.5%	7.0%	8.0%	
水 (m3)	526	513	500	487	476	466	466
		2.5%	5.0%	7.5%	9.5%	11.5%	
産業廃棄物 (トン)	40.5	39.9	39.5	39.1	38.7	38.3	38.3
		1.5%	2.5%	3.5%	4.5%	5.5%	

【基準値と最終目標の設定】

- ・ 基準値：前期の中長期の平均値
- ・ 目標値：前期の中長期の最も成果を上げた年度

環境経営目標（営業所）

項目	基準値	中長期単年度目標「本社以外」					最終目標
		2016	2017	2018	2019	2020	
電力 (kWh)	65,489	64,834	64,179	63,524	62,869	62,215	62,215
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
従量電灯 (kWh)	86,546	85,681	84,815	83,950	83,084	82,219	82,219
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
L P ガス (kg)	752.1	744.6	737.1	729.5	722.0	714.5	714.5
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
車燃料 (リットル)	93,848	92,910	91,971	91,033	90,094	89,156	89,156
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
二酸化炭素 (kg-co2)	298,649	295,663	292,676	289,690	286,703	283,717	283,717
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
コピー用紙 (枚)	59,065	58,474	57,884	57,293	56,702	56,112	56,112
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
水 (m3)	2,720	2,693	2,666	2,638	2,611	2,584	2,584
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
産業廃棄物 (トン)	161.3	159.7	158.1	156.5	154.8	153.2	153.2
		1.0%	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	

【基準値と最終目標の設定】

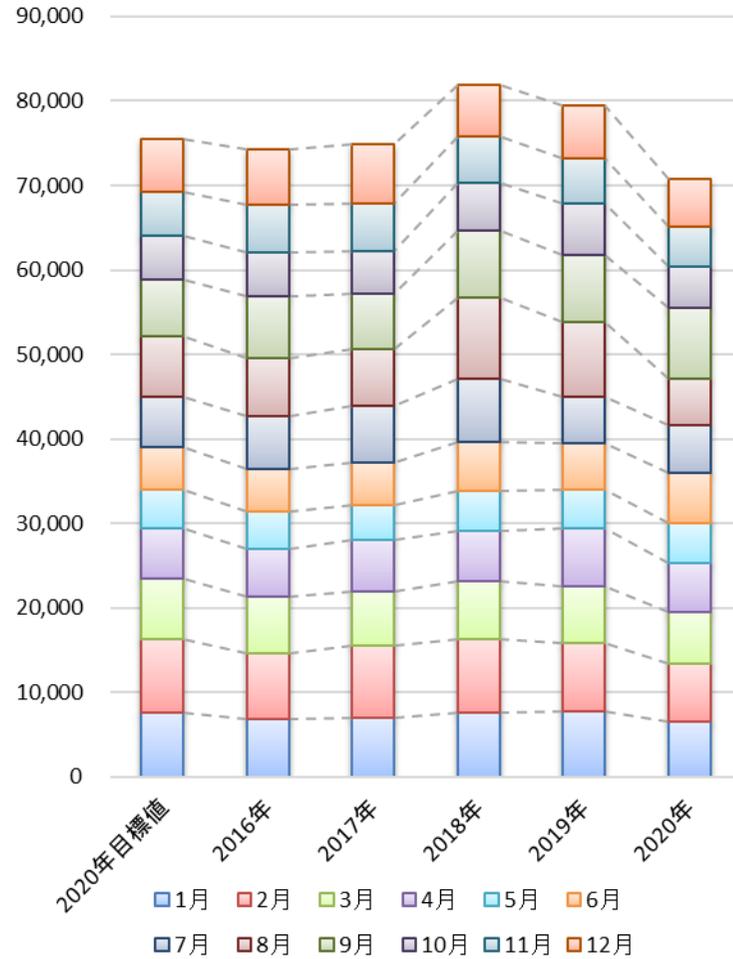
- ・ 基準値：2016年
- ・ 目標値：2016年から5%削減

環境活動取組結果：本 社

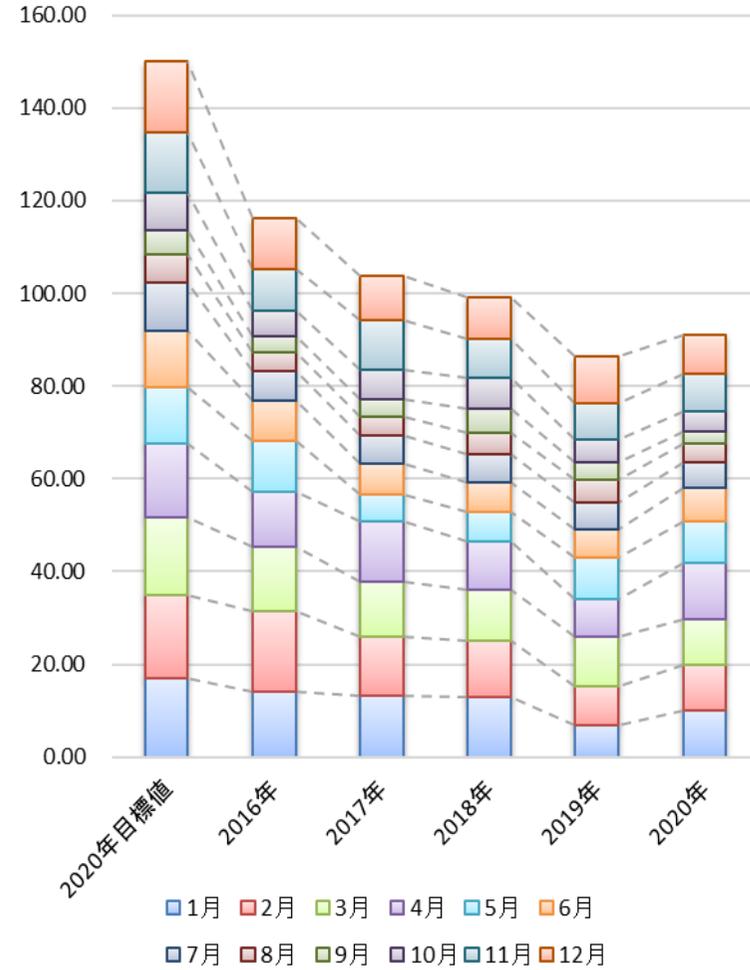
項目	単位	2019年	2020年		結果（増減率）		1人当たり年間使用量		
		実績	目標値	実績	対前年	対目標	2019年/27.5人	2020年/27.0人	
使用量	業務電力	kWh	73,774.0	—	65,269.0	▲ 11.5%	—	2,682.7	2,417.4
	低圧電力	kW	36.0		38.0	5.6%	—	1.3	1.4
	従量電灯 C	kVA	5,603.0		5,531.0	▲ 1.3%	—	203.7	204.9
	電力計		79,413.0	75,478.0	70,838.0	▲ 10.8%	▲ 6.1%	2,887.7	2,623.6
	ガス（LPG）	kg	86.3	149.8	94.2	9.2%	▲ 37.1%	3.1	3.5
	車燃料(レギュラー)	ℓ	14,190.9	—	14,346.4	1.1%	—	516.0	531.3
	車燃料(軽油)		10,117.0		14,289.8	41.2%	—	367.9	529.3
	燃料計		24,307.9	24,947.0	35,665.2	17.8%	14.8%	883.9	1,060.6
	水	m ³	437.0	466.0	417.2	▲ 4.5%	▲ 10.5%	15.9	15.5
	廃棄物	t	36.0	38.3	44.4	23.3%	15.9%	1.3	1.6
コピー用紙	枚	63,000	83,564	80,000	27.0%	▲ 4.3%	2,290.9	2,963.0	
二酸化炭素	電力	kg-co2	36,576.0	32,339.0	32,203.4	▲ 12.0%	▲ 0.4%	1,330.0	1,192.7
	ガス（LPG）		259.0	490.0	273.3	5.5%	▲ 44.2%	9.4	10.1
	車燃料		59,024.8	59,633.0	68,961.0	16.8%	15.6%	2,146.4	2,554.1
	排出計		95,859.8	92,462.0	101,437.8	5.8%	9.7%	3,485.8	3,757.0
排出係数	業務用電力	0.455 (kg-CO ₂ /kWh)		2020年の排出量を把握する際に用いた電力の排出係数 2021.1.7 環境省・経済産業省公表					
	低圧電力	0.450 (kg-CO ₂ /kWh)							
	従量電灯 BC								

環境活動取組結果：本 社

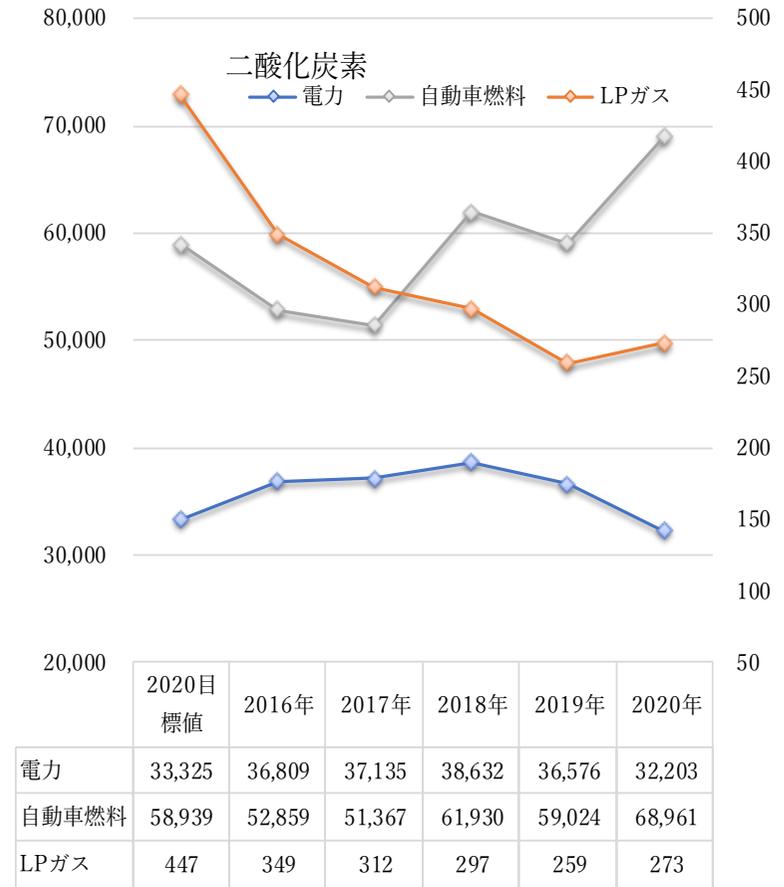
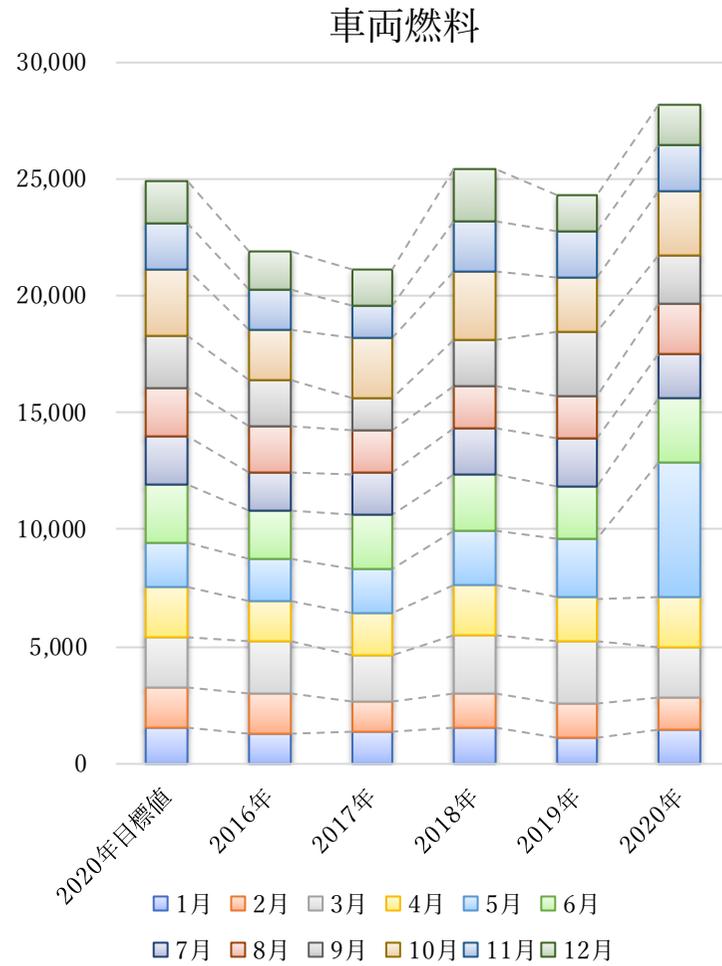
電 力



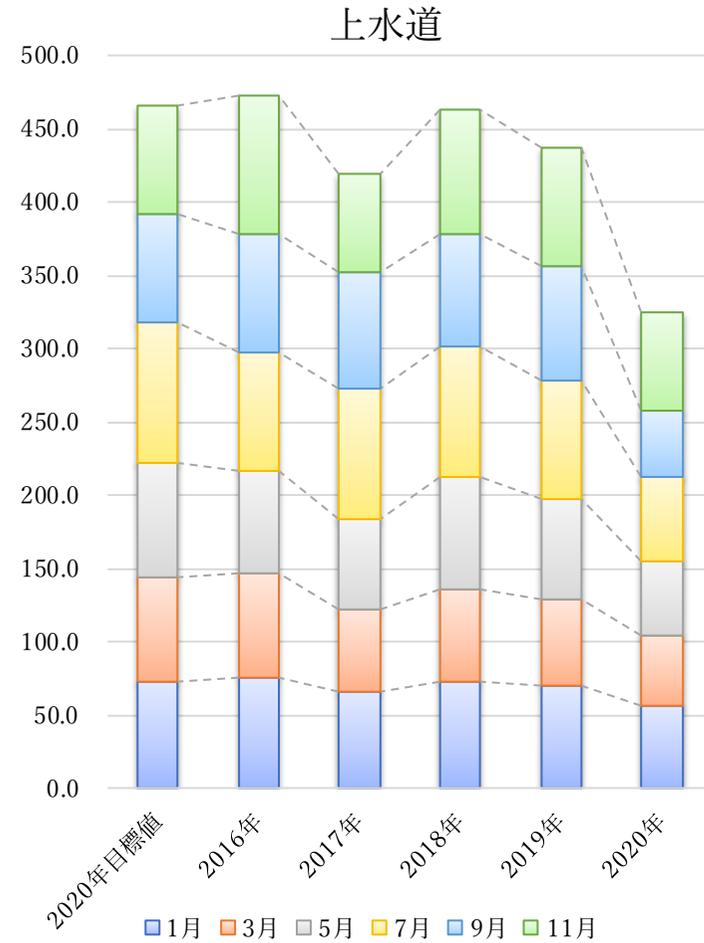
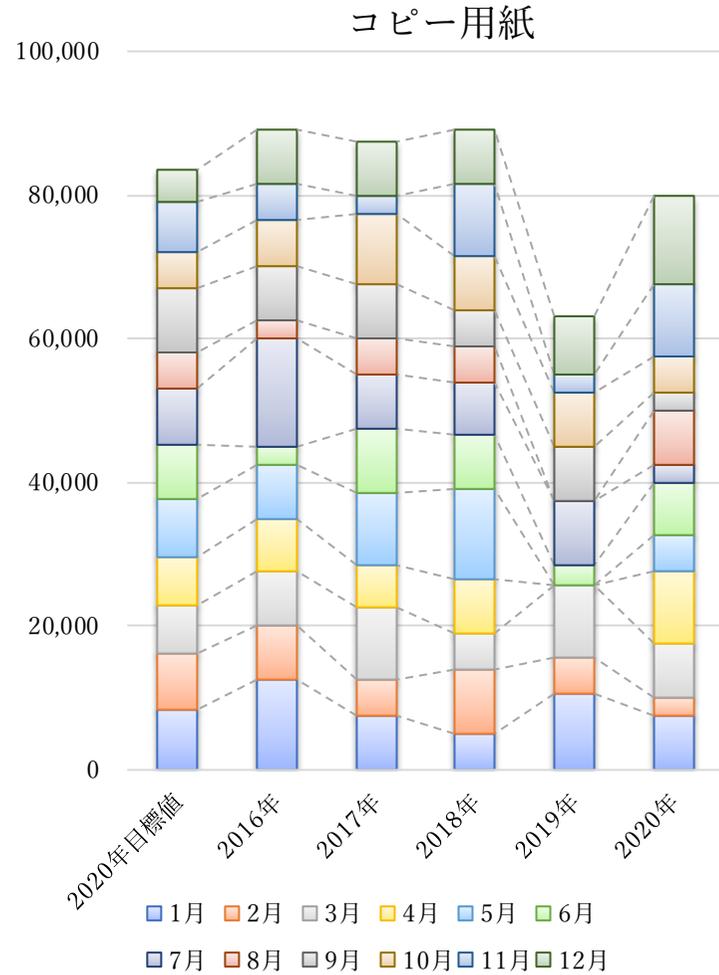
ガ ス



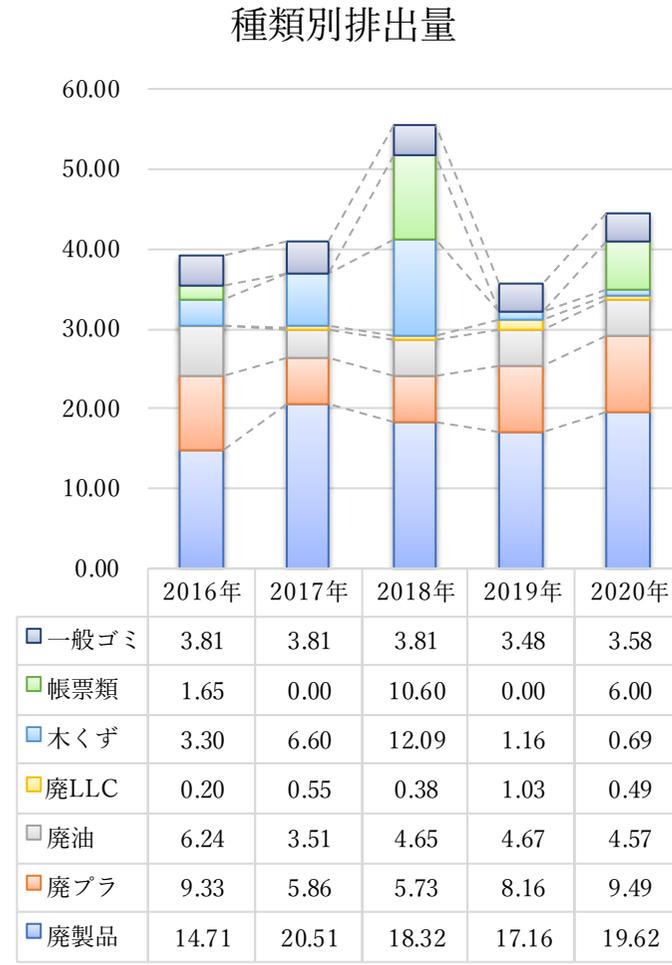
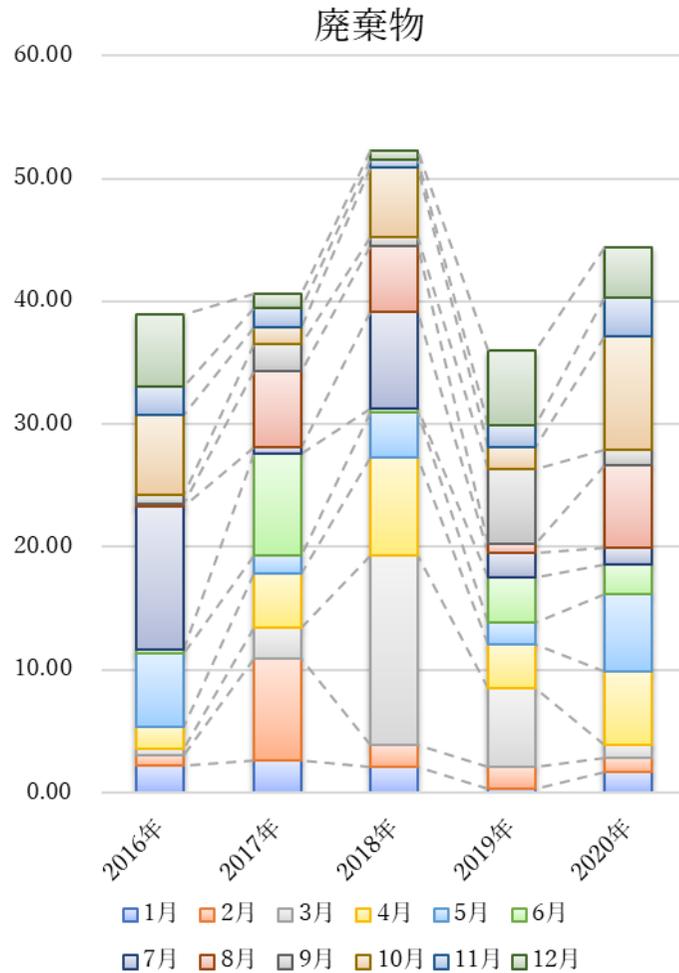
環境活動取組結果：本社



環境活動取組結果：本 社



環境活動取組結果：本社

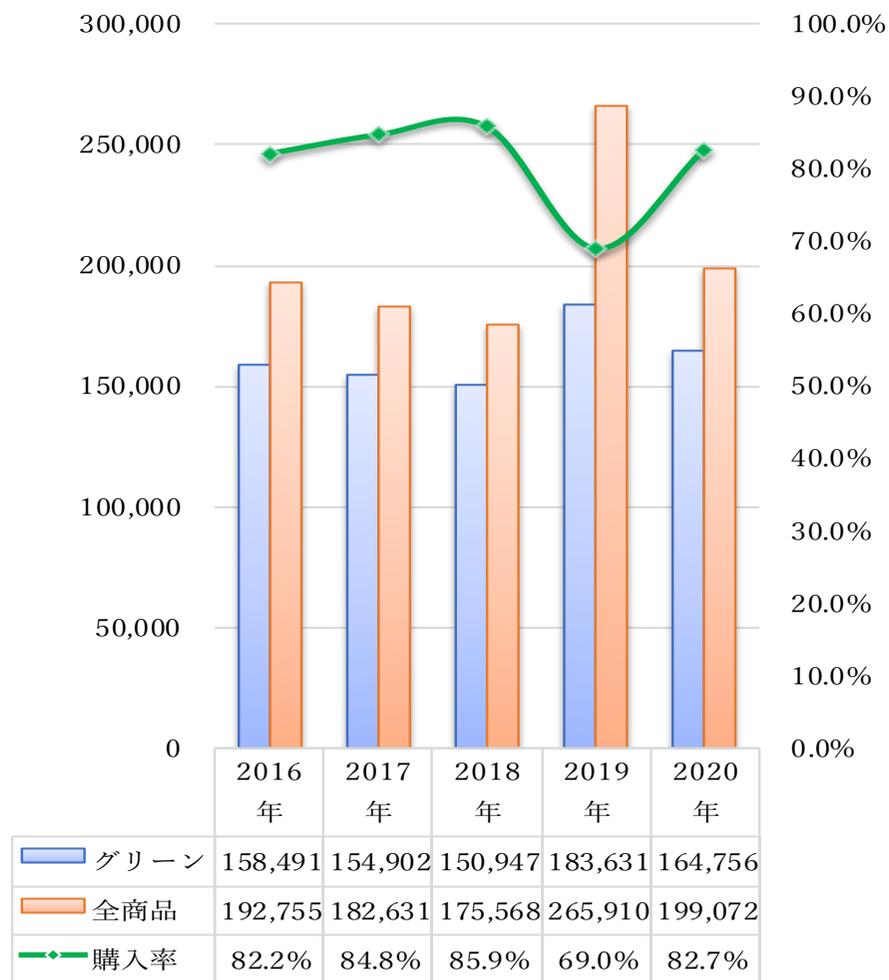


環境活動取組結果：本社

グリーン商品

購入金額	グリーン	全商品	購入率
2016年	158,491	192,755	82.2%
2017年	154,902	182,631	84.8%
2018年	150,947	175,568	85.9%
2019年	183,631	265,910	69.0%
2020年	164,756	199,072	82.7%

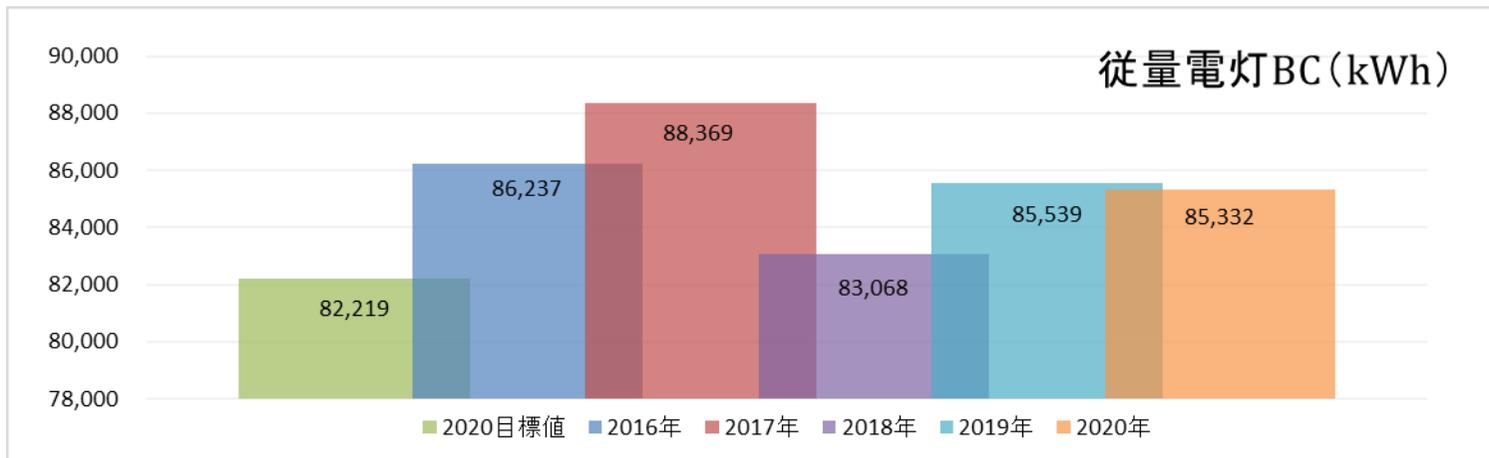
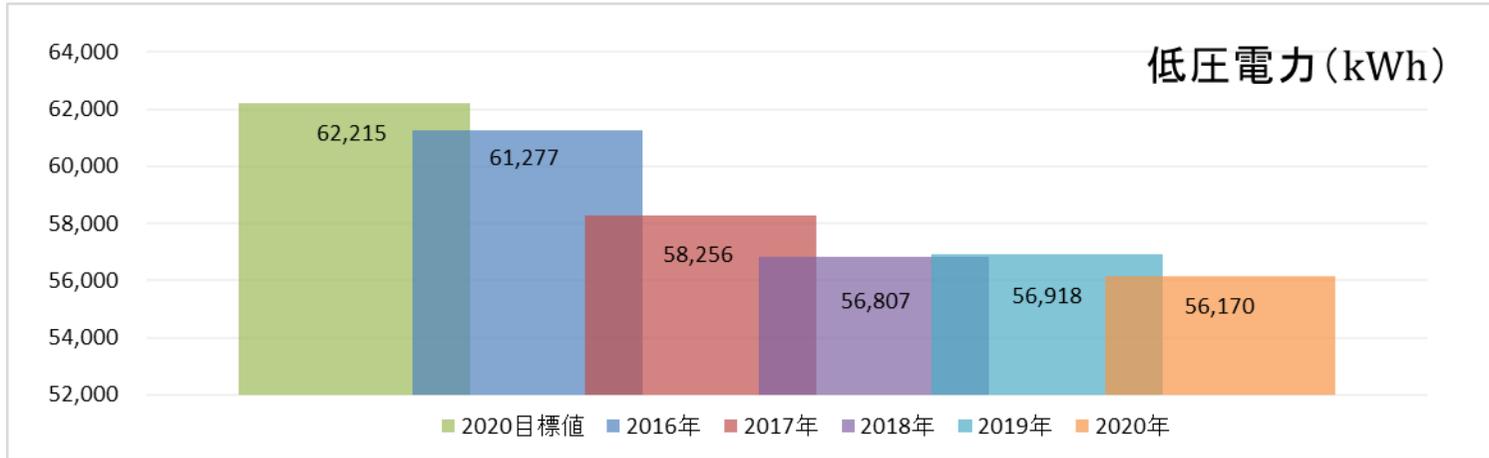
グリーン商品購入率



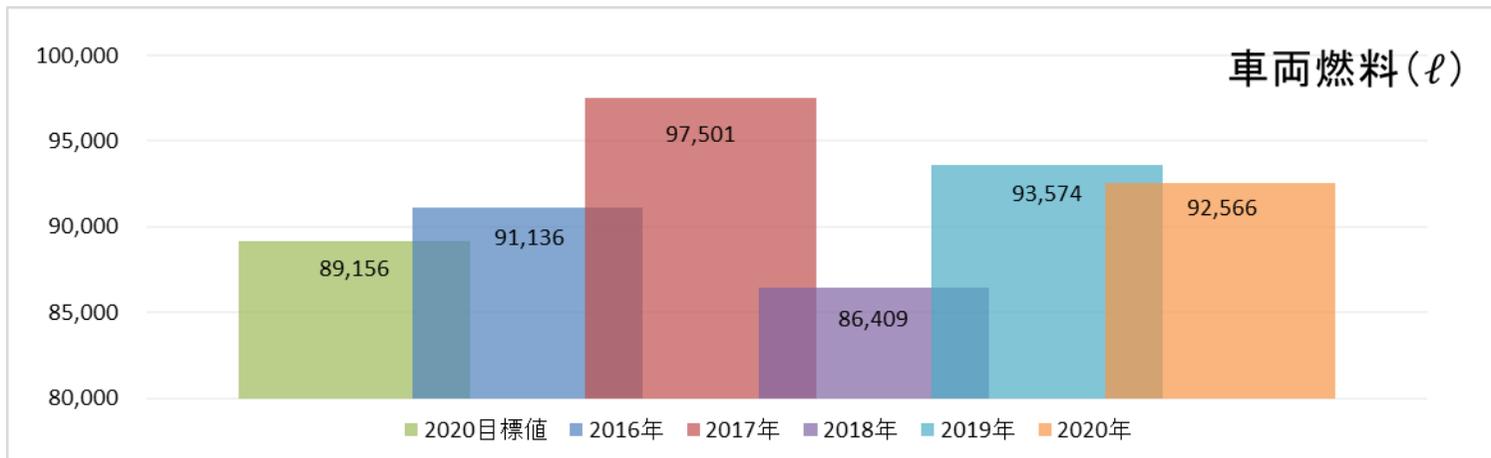
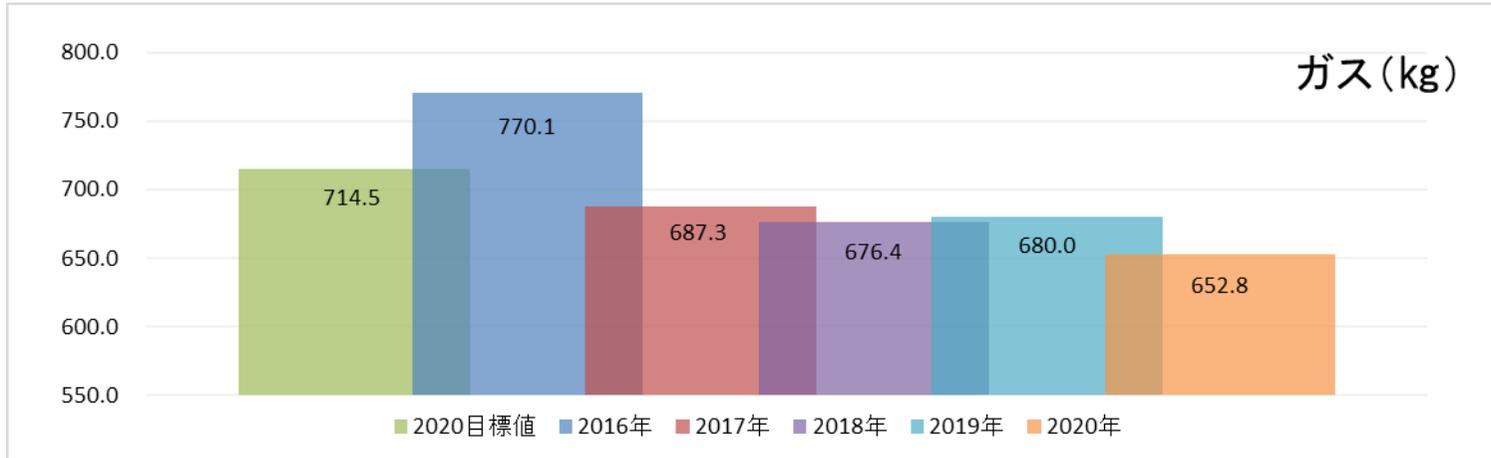
環境活動取組結果：拠点実績

項目		単位	2019年	2020年		結果（増減率）		1人当たり年間使用量	
			実績	目標値	実績	対前年	対目標	2019年/72.7人	2020年/72.8人
使用量	低圧電力	kW	56,918.0	62,215.0	58,788.0	3.3%	▲5.5%	782.9	807.5
	従量電灯C	kVA	85,539.0	82,219.0	77,236.0	▲9.7%	▲6.1%	1,176.6	1,060.9
	従量電灯B	A							
	電力計		142,457.0	144,434.0	136,024.0	▲4.5%	▲5.8%	1,959.5	1,868.5
	ガス（LPG）	kg	680.1	714.0	638.9	▲6.0%	▲10.6%	9.4	8.8
	車燃料(レギュラー)	リットル	51,630.1.0	未設定	53,470.9	3.6%	—	710.2	734.5
	車燃料(軽油)		41,944.3		38,619.1	▲7.9%	—	577.0	530.5
	燃料計		93,574.4		89,156.0	92,090.0	▲1.6%	3.3%	1,287.1
	水	m3	2,421.0	2,584.0	2,382.8	▲1.6%	▲7.8%	33.3	32.7
	廃棄物	トン	184.0	153.2	195.7	11.4%	27.7%	2.4	2.7
	コピー用紙	枚	59,250	56,112	54,250	▲8.4%	▲3.3%	815.0	745.2
二酸化炭素	電力	kg-co2	62,966.0	61,384.1	61,210.8	▲2.8%	▲0.3%	866.1	840.8
	ガス（LPG）		2,040.2	2,144.8	1,916.7	▲6.0%	▲10.6%	28.1	26.3
	車燃料		227,998.0	220,187.6	223,689.7	▲1.9%	1.6%	3,136.1	3,072.7
	計		293,004.0	283,716.5	286,817.2	▲2.1%	1.1%	4,030.3	3,939.8

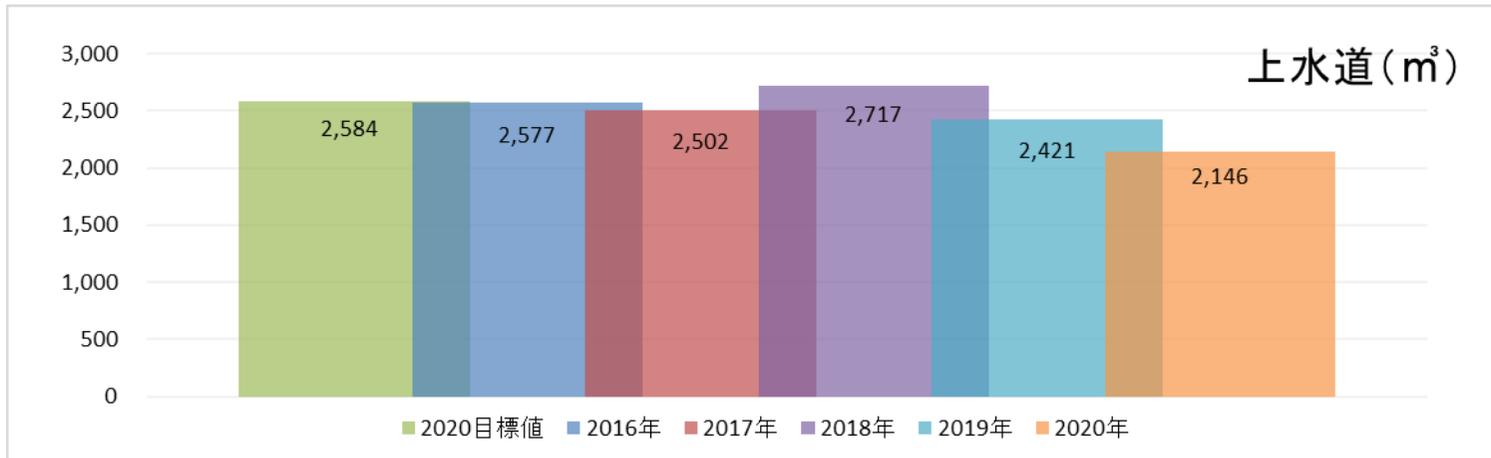
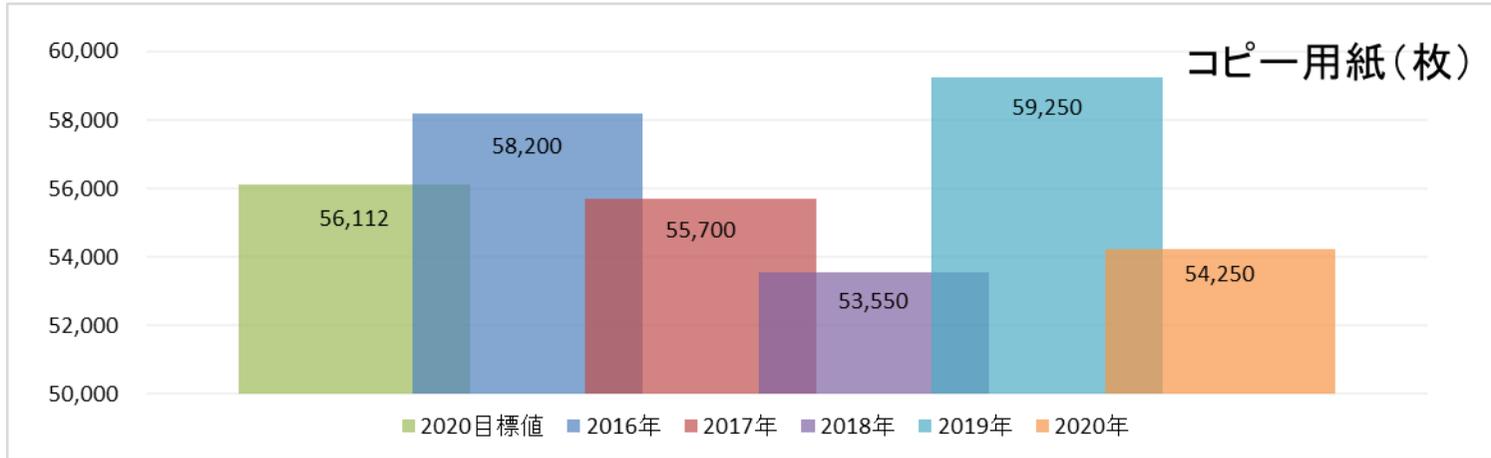
環境活動取組結果：営業拠点実績



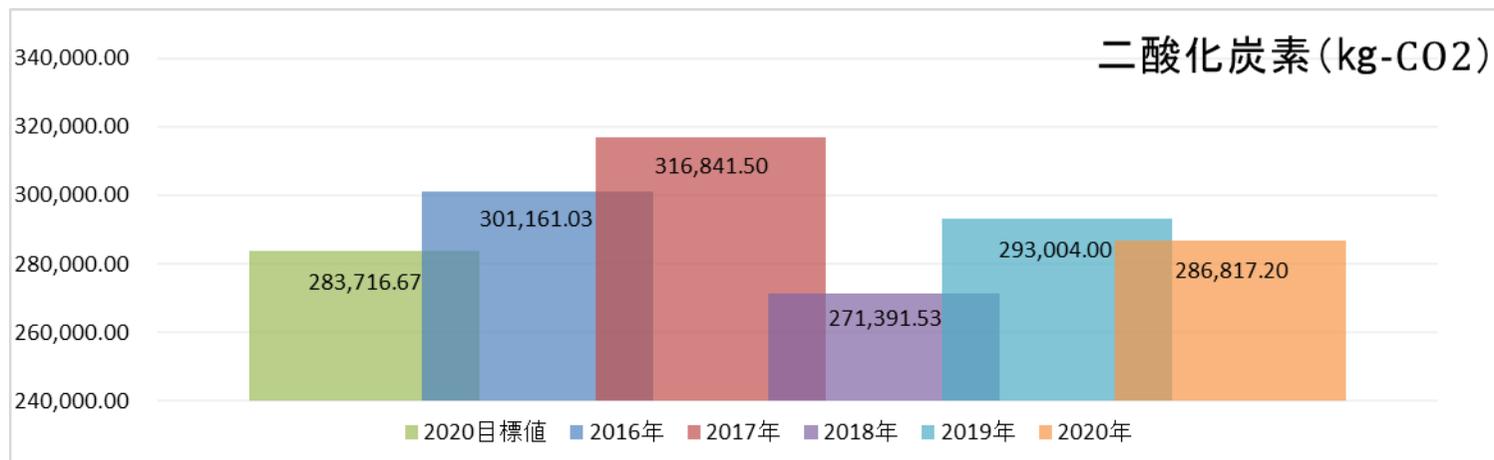
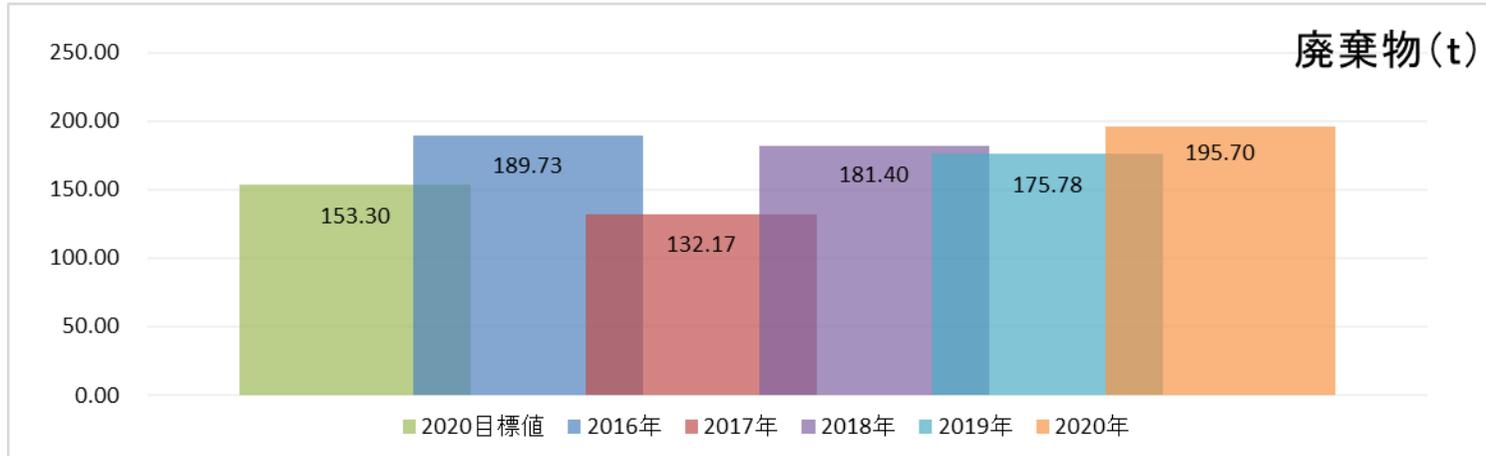
環境活動取組結果：拠点実績



環境活動取組結果：拠点実績



環境活動取組結果：拠点実績



環境配慮製品販売実績：全社

キセキ・エコ認定商品

トラクタ RTS・NTA・TJX・TJV

コンバイン HFC・HFR・HJ

田植機 NP50～80

エコ認定商品販売率



環境活動取組評価：本社

担当部署	取組項目	設備入替	主な取組/評価
営業本部	環境配慮製品		環境負荷に配慮した製品の情報提供と販売推進
総務部	コピー用紙 グリーン購入 再生品	なし	<p>☆両面コピー、裏面利用 営業活動におけるチラシ等の作成が増減に影響を与えている。昨年はコロナ禍で展示会が中止となり印刷物の作成が少なくなったため減少</p> <p>☆環境に配慮した商品（主に事務用品）の購入 在庫の補充時に環境に配慮した商品を購入するよう心掛けている</p>
営業管理部	電力 ガス	事務所のエアコン 19 台中 10 台入替 看板の照明を LED に 交換 なし	<p>☆デマンド監視によるピークカット、空調機の設定温度の徹底、設備入替 デマンドの設置によるピークカットは過度な運転の防止にもなり、さらに空調機の設定温度、運転時間の適正化の後押しにもなっている。その結果が第 2 中長期に出ている。そして第 2 中長期で 2020 年が成果を上げているのは運転率の高い 1 階事務所のエアコンの入替えが要因といえる</p> <p>☆タイマーの使用、使用箇所の制限 2016 年の屋外湯沸し器の使用を制限してから大幅に使用料を減らし、以降タイマーの使用を徹底しているため大きな増減もなく推移してきた。</p>

環境活動取組評価：本社

担当部署	取組項目	設備入替	主な取組/評価
施設部	水	受水槽の撤去（水道管直結）	☆検針票による急激な増加のチェック 主に機械の洗車や従業員の飲料に使用。第2中長期は取組に特に変化もなく実績は一定の増減を推移していたが、2020年は全ての月で減少した。その要因については特定できていないため2021年の実績に注視したい
販売促進部	廃棄物	なし	☆廃棄物置場の清掃、☆マニフェストの管理、☆処理場の見学 昨年の評価と同じく、製品・部品の仕入及び販売から出る梱包材や、修理・整備から出る廃棄物等は仕事量に応じて変動するため排出量の増減からは評価しがたい 社員の分別意識を高めるべく情報を発信していく
特販部	自動車の燃料	なし	☆運転記録の作成 燃料消費も廃棄物と同様に営業活動に応じて変動するため評価しがたい。車輛毎の給油量と運行管理を徹底し、そしてエコドライブ10のすすめや安全運転の推進を図るなど運転者への意識向上につながる取り組みを継続していく
全社	製品	—	環境配慮商品の販売推進
	環境関連法規の遵守	—	産業廃棄物の適正処理、マニフェストの交付
			汚水、廃油等の漏れ等による環境汚染防止
	緊急事態への対応	—	災害または緊急事態に対応した連絡網の確認
社員教育	—	朝礼の活用、所内での掲示	

環境活動取組評価:拠点別

担当部署	取組項目	設備入替	取組項目	評価
営業所 整備工場 系統推進部 育苗センター	省エネ 省資源	西部(営)事務 所 LED 照明へ	電力使用量の削減 運転時間の適正化、適温励行(夏 28℃、冬 23℃) エアコンのフィルタ清掃 無人エリア消灯の徹底	2016年のスタートから5年が経過。エコアクションの活動は周知され、実績を公表することで意識向上に繋げ各人ができる活動のなかで取り組んできた 今後は所員が自発的に行動に移せるよう無理なく負担の少ない活動を目指し、また営業・修理の中で環境活動に対してどう結び付けられるのか現場の声を聴き取組へ展開していきたい
			水道使用量の削減 節水意識の啓発	
			ガス使用の節約 使用の適正化	
			車輻燃料の節約 運転記録簿 エコドライブ10の取組 適正な車両整備(自社・会社)	
	廃棄物		排出量の削減 分別収集の徹底 収集場所の整理整頓	
			コピー用紙の削減 両面印刷、裏面利用 使用済封筒の再利用	
			リサイクル、リユースの推進 リサイクルトナーの使用	

環境関連法規などの遵守状況並びに違反、訴訟の有無

1) 当社に適用となる主な環境関連法規

関係する主な環境関連法規	当社における要求事項	チェック項目	対象施設	遵法
廃棄物処理法	産業廃棄物処理業者と委託契約を締結しマニフェストの管理を徹底する。またゴミの分別を徹底することやゴミ置き場とその周辺の整備に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・法 12-5 処分許可書業者への委託 ・法 12-3 マニフェストの保管 ・法 12-3 マニフェスト交付状況届 	ゴミ置き場	○
家電リサイクル法	使用している家電製品をなるべく長期間使用することにより、廃棄物の排出を抑制するよう努める。又排出時には小売業者への適切な引渡し及びリサイクル料金を支払	<ul style="list-style-type: none"> ・法 6 適切な引き渡し、リサイクル料金の支払い 	社内の特定家電製品	○
自動車リサイクル法	自動車をなるべく長期間使用することにより、使用済自動車となることを抑制するよう努める。又資金管理法人への再資源化等預託金の預託義務と引取業者への使用済自動車の引渡しを義務とする	<ul style="list-style-type: none"> ・法 5 所有者の責務 ・法 73 使用済自動車のリサイクル 	当社所有自動車	○
消防法	市火災予防条例に基づく少量危険物の取扱に関する事項の遵守。又当社の消防計画に沿って避難訓練を実施し、計画が効果的かの見直しを図る	<ul style="list-style-type: none"> ・法 9-4 少量危険物の取扱 ・法 17 消防用設備等の設置 ・法 17-3 消防用設備等の点検 	本社部品庫 修理工場	○

関係する主な環境関連法規	当社における要求事項	チェック項目	対象施設	遵法
フロン排出抑制法	特定製品が廃棄される場合、フロン類の適正かつ確実な回収、破壊及び排出の抑制に必要な措置を講ずる	<ul style="list-style-type: none"> ・法 16 簡易点検 ・法 86 フロン類の放出禁止 	エアコン設備	○
	第一種特定製品（対象設備）の把握と簡易点検の実施及び記録簿の保存			
悪臭防止法	整備工場において悪臭が発生すると思われる作業については、防止対策を講ずる	<ul style="list-style-type: none"> ・法 7 規制基準の遵守 	修理工場	○
浄化槽法	保守点検及び清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・法 11 定期検査の実施 ・法 10 保守点検及び清掃 	浄化槽	○
小型家電リサイクル法	再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努める	<ul style="list-style-type: none"> ・法 7 分別して排出 	社内の小型家電	○

2) 当社に関する訴訟及び環境法規に対しての違反の事実や、環境に関する苦情

内 容	状 況
訴訟	無
環境法規への法律違反	無
環境に関する苦情	無

代表者による総評

ここ数年、逐次毎月の電気、水、石油燃料、ガス、紙等の数値を各所でチェックしながら、大きな変動があった際は原因を突き止め短期間で対策を講じ解決を図るよう努力しています。ただし、このような努力も無駄とは言いませんが数値だけに左右されて右往左往しているだけでは先に進めません。否応なしに経営環境の変化や自然環境の変化が原因で数値が変動してしまうため、数値の束縛から離れていく必要があります。

昨今、当社の ECO ACT 2 1 は外に向かった働きかけを強めています。メイン取り扱い商材である農業機械の中にあってもシンプル機能のエコな商品、環境にやさしいエンジンへの切り替え、スマート農機（自動運転・自動施肥・データ管理 etc）の推進などによりユーザーや地球環境にやさしい農業機械の普及を目指すこと……。この方向性で次のステップを目指してまいります